はなれていても

中川 昭 さん（宮内）福島県郡山市在住

震災の時は小学6年生でした。卒業式ができなくなり、その年の冬に改めて式を開いてもらったことを覚えています。新潟の親戚の家に避難した後、川俣町、そして福島市に引っ越しをしながら、飯舘中学校の仮設校舎に通いました。仮設にあっても自分にとっては楽しい学校生活でした。仮設住宅への訪問や、外部から来る方との交流などを通して、自分の世界が広がったと思います。村の自宅に立ち寄った時のさびしい気持ちは仕方がないと割り切るしかありませんでした。

当時の先生にいろいろな面で助けていただき、憧れを抱いて、教職を目指しました。大学3年生の時には小学校、4年生の時には中学校、それぞれ村内に戻った母校で教育実習をさせてもらいました。楽しかったですね。子ども達が村を知るための授業や取り組みが新鮮でした。

今年から小学校の教諭として勤務しています。休日に時間ができると、兄と一緒に、はやま湖に釣りに行きます。懐かしい通学路などを眺めながら村内を行き来して、皆さんが頑張っていることを感じています。いつか自分も村立学校で、村の子ども達を教えたいと夢見ています。

4月から勤務する須賀川市の小学校にて。聖火リレーに参加した地域の方が「子ども達に見せてあげて」とトーチを持って来てくれた時の1枚です。「私もトーチを持たせてもらいました。先生方をはじめ周りの皆さんに支えられて毎日を過ごしています！」

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

SDGs（エスディージーズ）を身近に

世界が抱えるさまざまな課題に向き合うための17の目標と169の具体的なターゲットを掲げるSDGs（持続可能な開発目標）。各国が取り組みを進め2030年までの達成を目指しています。このSDGsを身近に分かりやすく伝える本です。ぜひご活用ください。

こどもSDGs なぜSDGsが必要なのかがわかる本
バウンド 著
秋山宏次郎 監修
発行：カンゼン

SDGsの実践 自治体・地域活性化編
村上周三・遠藤健太郎・藤野純一・佐藤真久・馬奈木俊介 著
発行：事業構想大学院大学出版部

●交流センターの図書コーナーをぜひご利用ください。貸出時間は平日の午前8時30分から午後5時までです。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎0244（42）0072

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

いいたての香りをアロマに

地域おこし協力隊の大槻美友さん（草野）が、「飯舘村っぽい」香りのアロマオイル開発に取り組んでいます。7月28日には、さまざまな香りのサンプルを元に、村役場でアンケート調査を実施。昼休みには職員が会場を訪れ、飯舘村のイメージに合う香りをそれぞれの感性で探りつつアンケートに答えました。

夢のなつはぜワインを試作

「ニコニコ菅野農園」（菅野クニ代表／宮内）が、農園で生産するナツハゼ100%のワインを試験醸造。10kgのナツハゼで、500ml瓶10本を試作しました。菅野さんが、農園を立ち上げる時から心に描いていた夢のワイン…二本松市の醸造所「ふくしま農家の夢ワイン」の協力を得て、10年越しの夢が形になりました。今後の展開にも注目です。

道の駅までい館は4周年！

『いいたて村の道の駅までい館』が8月12日に開業4周年を迎えました。新型コロナの影響で予定されていたイベントは中止となりましたが、開業記念日限定の「記念特別きっぷ」（非売品）を配布するなど利用客に感謝を伝えました。また、スタッフが編集や制作を手がけた新しいパンフレットが完成！までい館の魅力や村内の見所を見やすく紹介しています。